

令和6・7年度 大田区教育委員会教育研究推進校 研究発表会

未来を拓く力をどう育てるか ～ Think・Share・Select (T・S・S) と ICT活用～

2026年2月20日(金)
大田区立羽田小学校



青山学院大学 教育人間科学部 教育学科
教授 北澤 武

自己紹介 北澤 武 (きたざわ たけし)

経歴

- 東京学芸大学→都内私立小学校教員
- 東京工業大学大学院 修士課程&博士課程
- 首都大学東京（現東京都立大学）→東京未来大学→東京学芸大学
- 青山学院大学教育人間科学部教育学科

教員免許状

- 幼稚園, 小学校, 中学校(理科), 高校(理科, 情報), 司書教諭

主な研究(専門: 教育工学, 科学教育, 情報教育, 学習科学)

- ICT活用指導力向上を目指した教員養成
- 教育現場におけるICTの導入と児童生徒への効果・影響の分析
- STEM/STEAM教育

主な社会活動

- 文部科学省リーディングDXスクールアドバイザー
- デジタル庁 デジタル推進委員, 「自分らしい学び」の実現に向けた内容情報の活用促進検討会 座長
- 中央区教育委員会委員
- 都立戸山高校, 都立科学技術高校 SSH運営指導委員
- 公益財団法人 パナソニック教育財団 専門委員 など
- 講演: 足立区, 荒川区, 板橋区, 江戸川区, 大田区, 葛飾区, 江東区, 品川区, 台東区, 目黒区, 八王子市, 東久留米市, 港区, 東京都多摩教育推進委員会, 静岡県, 三重県松阪市など

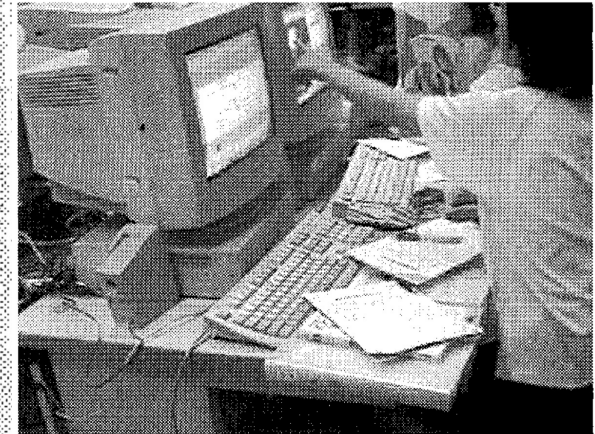


北澤の過去の研究：eラーニングサイト・理科ネット

5年生

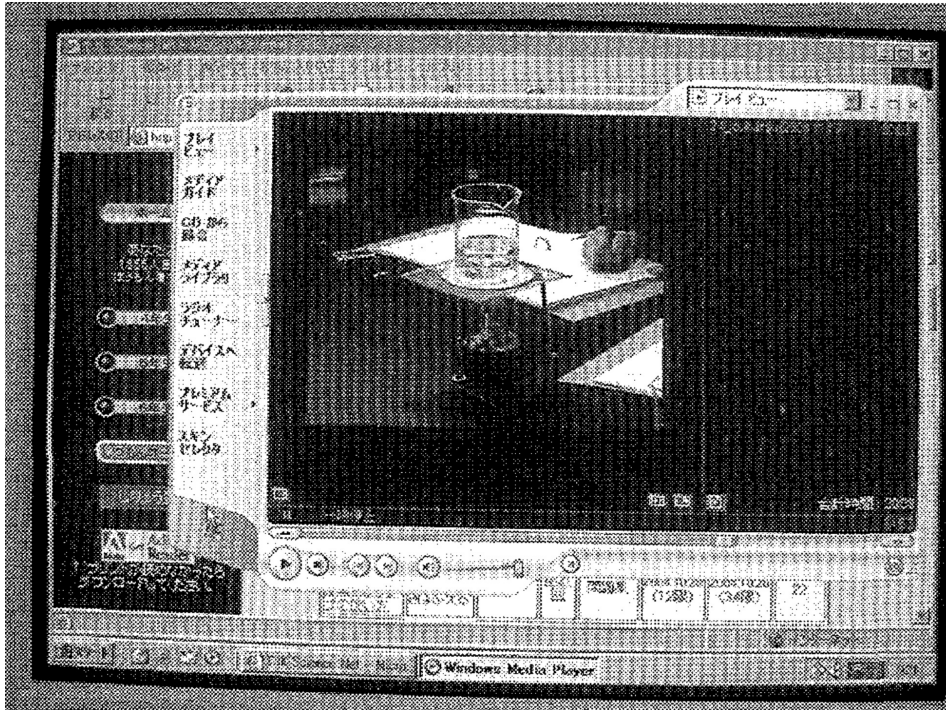
授業内容
(5年生)
- 授業をいかに使って、学んだことを確かめよう！ -

授業内容	キーワード	使った授業内容 等	使ったソフト	巻数	A編	B編	授業時数 の合計
1. ガイダンスにわたる お話し合い	自然(目・耳・鼻・舌(ひく)・し た)	-	第1回	-	2004.4.12 (4時)	2004.4.12 (3時)	1
2. 気温と湿度の測定: 気温の測定・湿度の測定 目録	天気の様子: 雲から雨・気温と 湿度の測定・湿度計の使い方 目録	2004.4.19	第2回	-	2004.4.19 (4時)	2004.4.19 (3時)	2
3. 気温と湿度の測定: 湿度計・気温の測定 目録	天気の様子(方): 雲の量・天気 の変化: 晴れの日→曇りの変 化あり、(雨・雨の日→曇りの 変化なし・アメダス)	気温計(2.1.1.1) 湿度計	第3回	-	2004.4.26 (3.4時)	2004.4.23 (1.2時)	4
4. アメダス(気温と湿度の 測定)	-	-	-	-	2004.4.29 (3時)	2004.4.26 (2時)	5
5. 植物の生長と気象: 気象の測定(気温)	種子・発芽・アムボン・ヨウモ 虫: 各気象・季節・アムボンが 発芽のときに関わる	-	第5回	-	2004.4.20 (3.4時)	2004.4.20 (1.2時)	7
6. 植物の生長と気象: 気象の測定(湿度)	インゲンマメを育てる条件	-	第6回	-	2004.5.10 (4時)	2004.5.10 (2時)	8
7. 植物の生長と気象: 気象の測定(天気) 気象の測定(天気) 気象の測定(天気)	インゲンマメの植え方と条件	-	第7回	-	2004.5.19 (3.4時)	2004.5.19 (1.2時)	10



北澤武ほか (2008) 自己制御学習に着目したeラーニング利用法に関する一考察—学校理科教育における教育実践を通じて—, 科学教育研究, Vol.32, No.1, pp.10-17.
 北澤武ほか (2009) eラーニングサイトの予習復習利用が児童の動機づけ・自己制御学習方略・成績に与える効果—小学校理科におけるブレンディッドラーニング環境を対象として—, 科学教育研究, Vol.33, No.1, pp34-49

北澤の過去の研究：eラーニングサイト・理科ネット

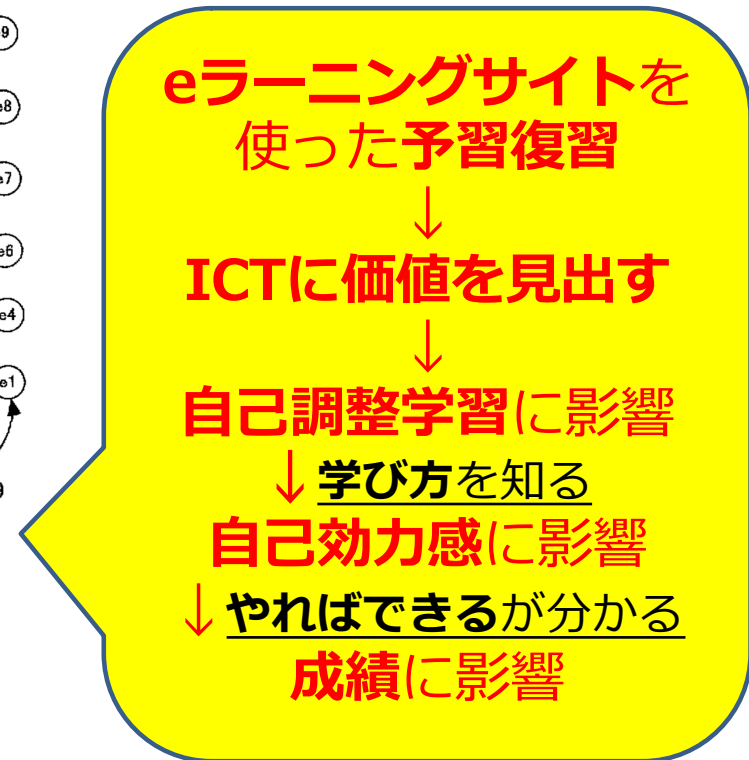
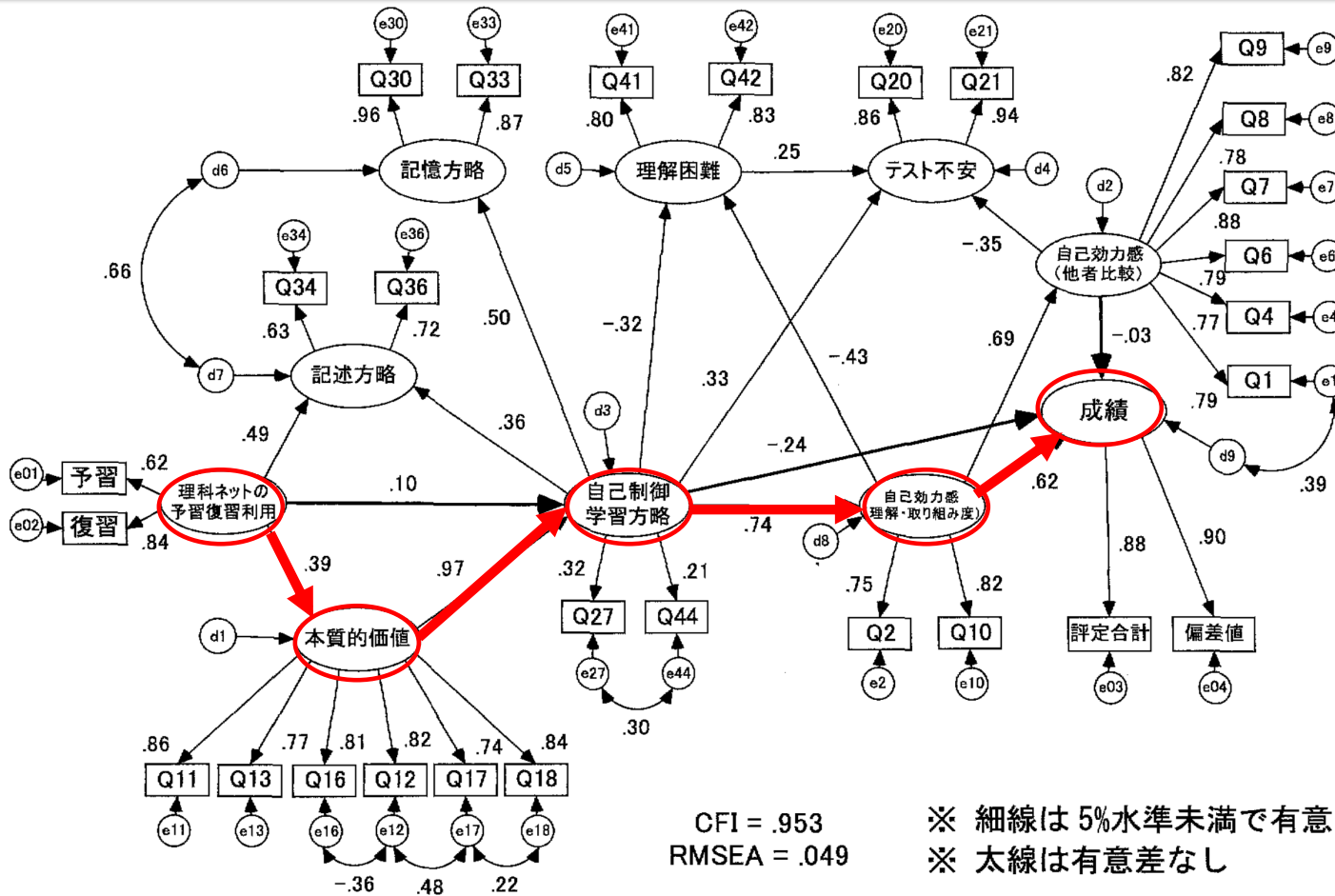


6年生				
授業の予定		授業のリンク		
8. 生き物とかんぎょう(2) メダカの血流の観察	だ液→約40℃で効果・血液の流れとはたらき	-	第8回	りんかど空 気:テ スト直 し&サ イン (5/31 提出)
9. テスト(生き物とかんぎょう(2)):植物のからだと日光	植物の成長の条件:日光・水(復習)	-	第9回	-
10. 日光のはたらき	葉で作られるもの→でんぷん	-	第10回	-
11. 日光のはたらき②	葉に日光を当てない工夫:葉をアルミニウムはく(アルミホイル)などでかぶせる	-	第11回	-
12. 日光のはたらき③ 動物のからだのはたらき:復習テスト	-	-	第12回	-



北澤武ほか (2008) 自己制御学習に着目したeラーニング利用法に関する一考察—学校理科教育における教育実践を通じて—, 科学教育研究, Vol.32, No.1, pp.10-17.
 北澤武ほか (2009) eラーニングサイトの予習復習利用が児童の動機づけ・自己制御学習方略・成績に与える効果—小学校理科におけるブレンディッドラーニング環境を対象として—, 科学教育研究, Vol.33, No.1, pp34-49

eラーニングサイトを活用した 予習復習の学びと自己調整学習・自己効力感の関係



北澤武ほか (2009) eラーニングサイトの予習復習利用が児童の動機づけ・自己制御学習方略・成績に与える効果—小学校理科におけるブレンディッドラーニング環境を対象として—, 科学教育研究, Vol.33, No.1, pp34-49

本日の内容

- **未来を拓くために**
 - 求められる能力
 - ICT（デジタル）の発展
- **どう育てるか（ICT活用も含めて）**
 - タキソノミー（教育目標分類学）
 - Think・Share・Selectの意義
 - 知識構築・知識創造の理論から
 - 働き方改革と教師の専門家としての試み



本日の内容

- **未来を拓くために**
 - 求められる能力
 - ICT（デジタル）の発展
- **どう育てるか（ICT活用も含めて）**
 - タキソノミー（教育目標分類学）
 - Think・Share・Selectの意義
 - 知識構築・知識創造の理論から
 - 働き方改革と教師の専門家としての試み



ラーニングコンパス (OECD, 2019)

エージェンシー：行動主体性

変化を起こすために、**自分で目標を設定し**、
振り返り、責任を持って行動する能力

↓ (例えば)

従来の教師の一方向的な授業



授業を変えたいと思っている教師

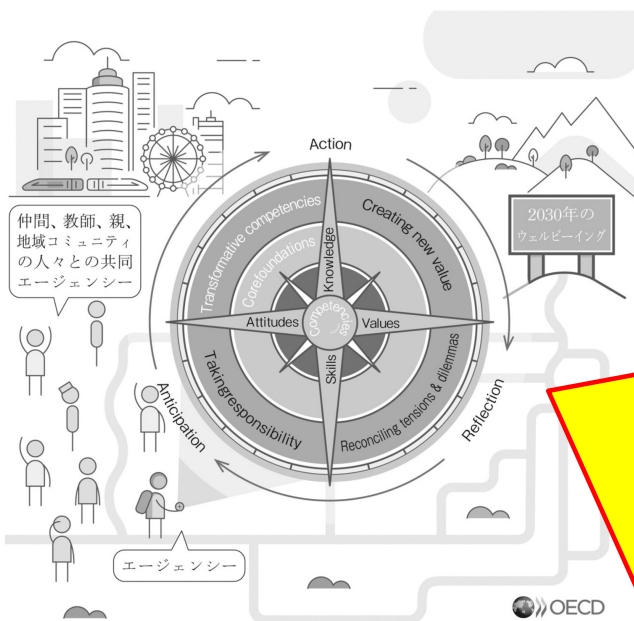


保護者などの影響



**なぜ、授業のやり方を変えるべきか、
目的や利点を論理的に説明
他者の意見に耳を傾ける**

※他者との関係性で資質・能力が磨かれる



小中学生の悩み (ベネッセ 2014)

1. 「上手な勉強のやり方が分からない」のは小学生で約 40%、中学生で約 55%。

図 1-a 学習上の悩み (学校段階別)

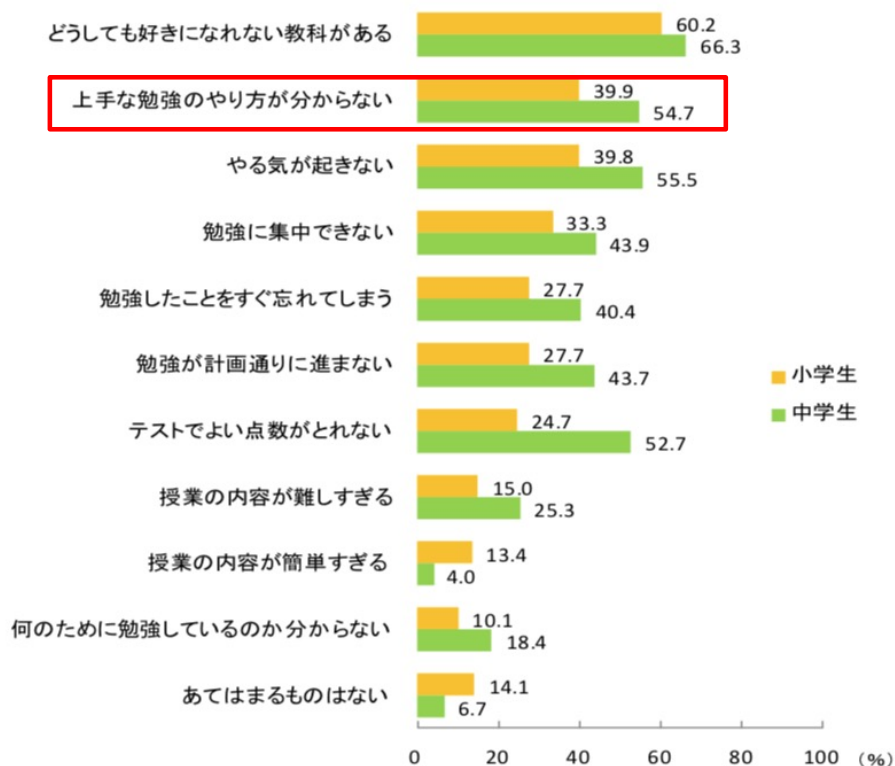


図 1-b 「上手な勉強のやり方が分からない」
(成績別・中学生)



注 1) 複数回答。

注 2) 中学生の成績の 3 分類は国語・数学・英語・理科・社会の成績の自己評価から得点を算出し、さらに成績「上位層」「中位層」「下位層」に 3 分割したもの。

注 3) ()内はサンプル数。

**上手な勉強のやり方が分からず、
良い点が取れないと悩んでいる
実態 (特に、成績下位層)**



**自分にとって上手な学び方を知り
定着させることが重要**

ベネッセ教育総合研究所 (2014) 小中学生の学びに関する 実態調査 速報 (参照日 2026/02/01)
https://benesse.jp/berd/up_images/research/Survey-on-learning_201411191.pdf

最近接発達領域：ZPD（ヴィゴツキー，2003）



<https://ja.wikipedia.org/wiki/レフ・ヴィゴツキー>

【協働的な学び】
学校教育で学習環境を
どこまで整えられるか

教えてもらわ
なくても、み
んなとなら、
できる。

ZPD

ICTを活用した
友達・教師の
支援
生成AIによる支援

ひとりで
できる。

【個別最適な学び】
自己調整学習を支援しながら、
どこまで引き上げることがで
きるか

池田光穂 最近接発達領域（ZPD）
<https://navymule9.sakura.ne.jp/090113ZPD.html>（参照日2026/02/01）より、図を引用
ヴィゴツキー著，土井捷三，神谷栄司 翻訳
（2003）「発達の最近接領域」の理論：教授・
学習過程における子どもの発達，三学出版

Figure: Original by Mitzub'ixi Quq Chi'j
ZPD, Zone of Proximal Development, зона ближайшего развития.
L.S. Vygotsky: Mind in Society: Development of Higher Psychological Processes, p. 86, Cambridge, Mass.:Harvard University Press.

「わかったつもり」を 「自分の言葉で説明できる」へ

端末上のパートナーと対話しながら授業を振り返り、
「自分の言葉で説明できる力」を育てる。
学習意欲を引き出す。記憶を確実に定着させる。

GIGAスクール構想で整備された1人1台端末の環境を最大限に活かし、
学校や家庭学習で活用できる次世代の教育DXツールとして、
教育の質を高め、進学実績や学力向上へとつなげます。



青山学院大学との共同研究から生まれた

学校向けの授業復習支援サービス

無料トライアル校 募集
(先着10校・12月末まで)

今すぐ無料トライアル

資料請求/お問い合わせ

株式会社SCCと
青山学院大学教育テスト研究所
(代表：北澤武) との共同研究

こんな課題はありませんか？



知識習得の変化（数値は偏差値）

まなりぴの利用が多い 児童	まなりぴ利用前						まなりぴ利用後
	飛鳥時代	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	室町時代	平均値	安土桃山時代
A	50.2	56.4	51.4	56.9	60.9	55.2	60.8
B	50.2	49.6	54.2	47.7	51.9	50.7	54.3
C	47.8	53.0	52.3	51.2	44.5	49.8	53.2
D	50.2	43.8	39.4	33.2	37.1	40.7	47.2
E	43.8	31.2	46.8	36.2	38.7	39.3	40.2
F	44.8	46.2	37.5	49.9	49.3	45.5	46.7

・「まなりぴ」をどれくらい利用しましたか。

1. 全く利用しなかった,
2. 週に30分未満,
3. 週に30分以上～1時間未満,
4. 週に1時間以上～1時間30分未満,
5. 週に1時間30分以上 → これらの回答者のみを抽出

多く利用した児童の偏差値が、利用前の平均値よりもポイント増

詳細は、2026年3月22日（日）：第10回日本アクティブ・ラーニング学会全国大会／AI時代の教育学会
2025年度第2回研究会合同大会@日本経済大学 東京渋谷キャンパスで発表予定

最新のChat GPTアプリのデモ (Advanced Voice機能)

Tom is a junior high school student.
He usually walks to school with his friend Ken.
One morning, Tom noticed that his pencil case was not in his bag.
He thought he had left it on his desk at home.

Tom felt worried because he needs his pencil case to write notes and take tests at school.
However, Ken said, "You don't need to worry. I can lend you a pen."

At school, Tom told his teacher about the problem.
The teacher smiled and said, "It is good that you noticed it early."

After school, Tom went home and found his pencil case on his desk.
He felt relieved and decided to be more careful next time.

Q1. Why does Tom need his pencil case at school?

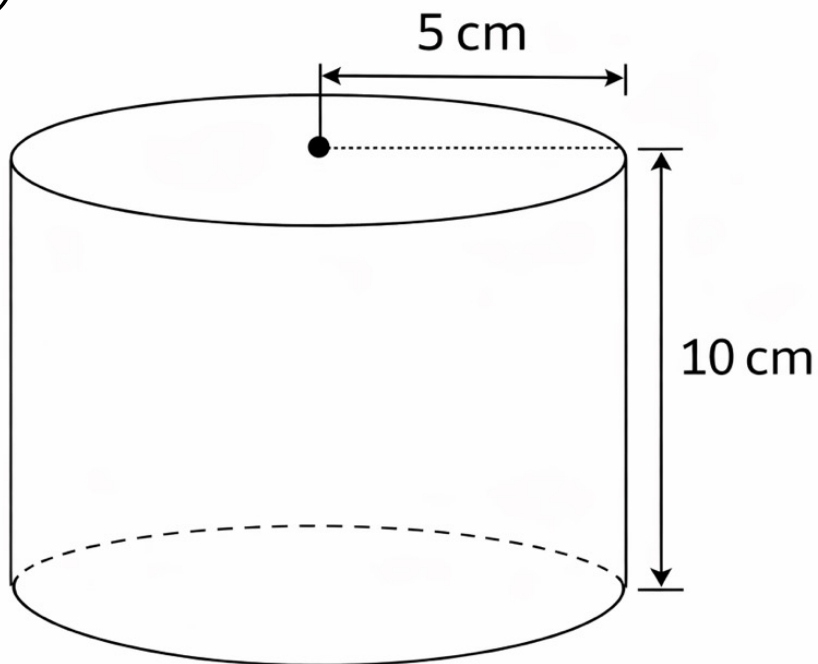
- A. To read books
- B. To play games
- C. To write notes and take tests
- D. To talk with friends

Chat GPT 5.2で作成

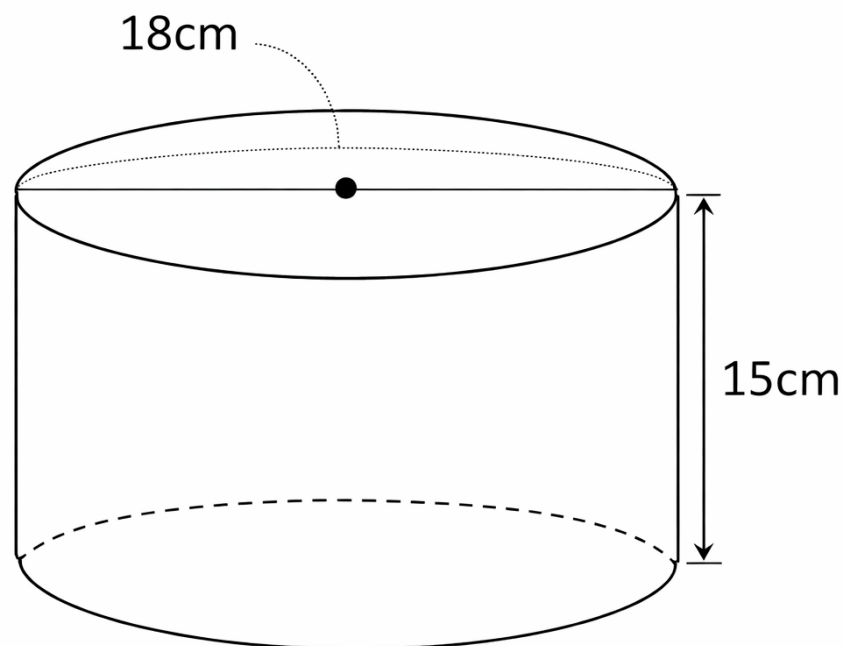
最新のChat GPTアプリのデモ (Advanced Voice機能)

次の円柱の体積を求めなさい。

①



②



Chat GPT 5.2で作成

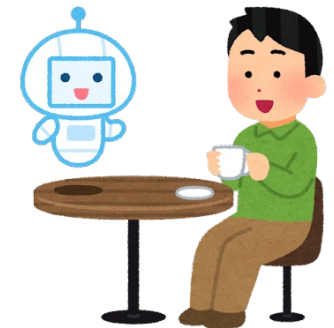
生成AIの対話的存在と自己調整発達

- 学習者に別の視点を与えるパートナー (Wegerif & Major, 2024)
- 生成AIとの共演を通じた発達とその中で生じる学習の方向性やペースの自己調整に焦点を当てる

(松河・新居, 2025)



自分よりも賢い生成AIに自身の学び (ZPD) を引き上げてもらい、自己の成長を実感すること



Wegerif, R., & Major, L. (2024). Artificial intelligence, dialogic education, and the transformation of learning. *British Journal of Educational Technology*, 55(1), 5-20.

松河秀哉・新居佳子 (2025) 大規模言語モデルをより有能な他者と位置づけた自己調整発達の概念の提案. 日本教育工学会論文誌, 49, Suppl., pp.1-4

本日の内容

- 未来を拓くために
 - 求められる能力
 - ICT (デジタル) の発展
- **どう育てるか (ICT活用も含めて)**
 - タキソノミー (教育目標分類学)
 - Think・Share・Selectの意義
 - 知識構築・知識創造の理論から
 - 働き方改革と教師の専門家としての試み



◆自己調整学習のサイクルや、それを促進する要素等に関する研究上の知見

参考資料①

最終目標

○自己調整学習のサイクル

目標の設定や、効果的に進める工夫（方略）などの計画を行い、興味や自信をもつ

予見（学習前）

自己の学習状況を把握（メタ認知）しながら方略を工夫して学習を進める

遂行（学習中）

「自己調整学習」3つのサイクルを自律的に循環させ、学びを深める

内省（学習後）

学習結果の原因・理由や方略の効果等について振り返り、次の学習につなげる

(Zimmerman&Schunk(2001))を基に作成

自己調整学習の効果
を高め、学習成果
に繋がりやすくする

○自己調整学習の効果をも高める方略の例

参考資料⑧参照

動機づけ方略

質の高い学習を開始・継続することができるよう、自らの動機づけ（モチベーション）や感情を整える方略

学習方略

学習内容をよりよく理解し、定着させることができるよう学習中の情報処理の方法等を工夫する方略

参考資料⑨参照

メタ認知的方略

学習方略がうまく働きよりよい学習成果に結びつくよう、自身の学習過程の計画・把握・調整・振り返り等を適切に行う方略

(Usher&Schunk(2018))を基に作成

子供達の方
略の工夫・発揮を
支える

○方略の指導に関する類型

※研究では、教師による方略の直接的な教授の有効性が示されている

直接的な指導

「～しましょう」等の形で発揮させたい方略を直接的に指導

間接的な指導

「～したいときはどうすればよいか」等の形で、方略を間接的に気づかせる

学習環境設定の工夫

教師による指導は行わず、子供自身が自然と方略を工夫するような学習環境を整える

(Dignath et al. (2022))を基に作成

◆子供が自ら学習を調整しながら学びを進めるための学校現場の実践例 (単元内自由進度学習を含む、自治体や学校の事例等を基に記載)

参考資料⑩参照

単元や題材の設計

- ・ 子供達が意欲的に取り組むことができ、全ての子供が育成したい資質・能力を育むことができるような単元や題材の設計
- ・ 単元全体の目標や内容、流れを子どもと共有することで学習の見通しの明確化
- ・ 個別・協働・一斉といった学習活動の効果的な配置

多様な学習材料の提供
足場かけの準備

- ・ 子どもが自分の力で学ぶことができ、自らにとって学びやすいものを選択できる多様な材料の提供
- ・ 子どもの特性や学習スタイルに応じて選択できる多様な学習材料の提供
- ・ 学習の見通しを持つことや学習の進捗状況の把握、学習の振り返りがしやすい学習材の開発 等

学習環境の整備

- ・ 安心して学習に取り組める空間づくり
- ・ デジタル学習基盤も活用しながら、生徒間や外部との協働を通じた学びの深まりや、生徒自身が学習に必要な情報に必要なタイミングでのアクセスを可能とする 環境づくり 等

令和7年12月
15日教育課程
部会総則・評価
特別部会
資料1-1
(文部科学省)

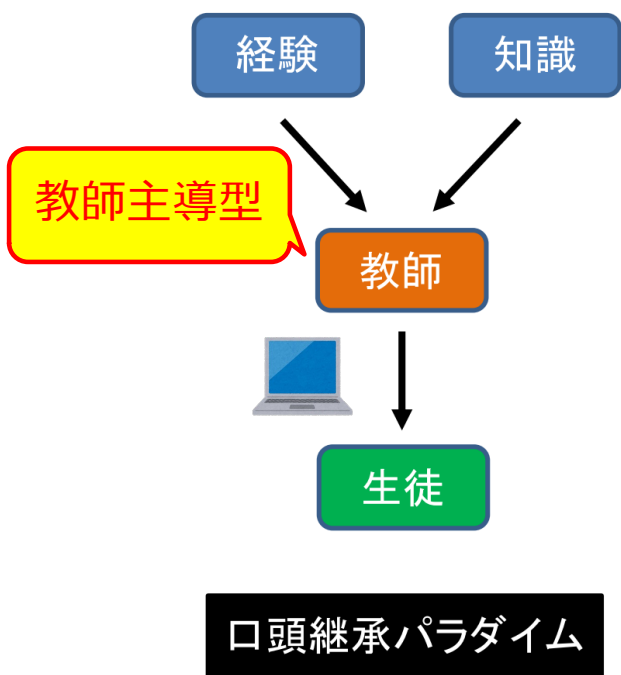
https://www.mext.go.jp/content/20251215-mxt_kyoiku01-000046335-02.pdf



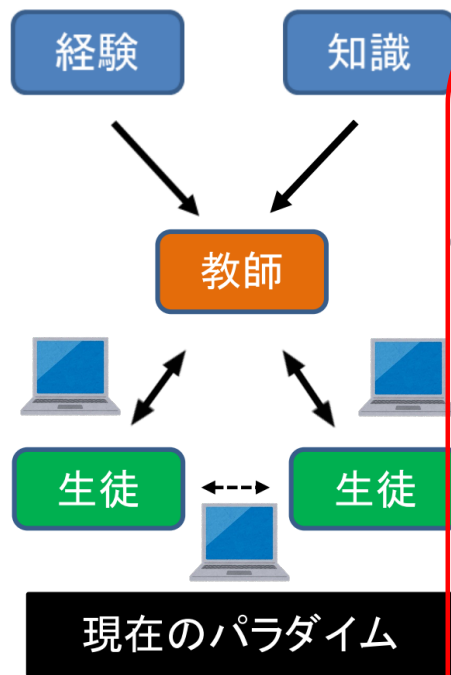
**教育現場で
できること**

学校教育の過去・現在・未来のモデル

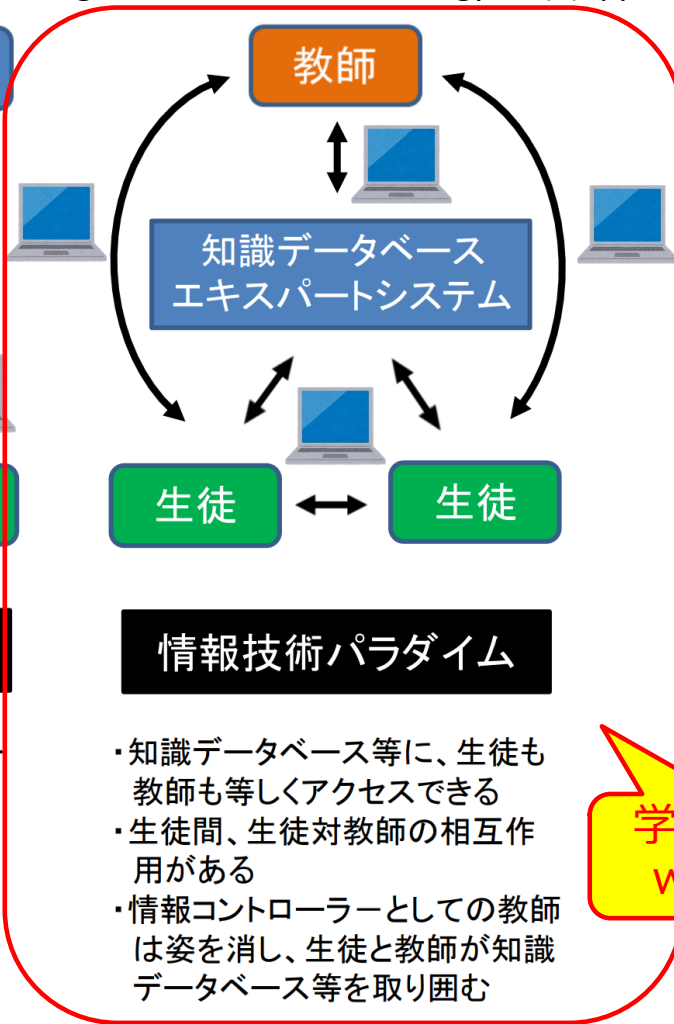
Robert K. Branson (1990) Issues in the Design of Schooling: Changing the Paradigm. Educational Technology, 30(4), pp.7-10



- ・口頭による教師の経験や知識の一方的な伝達
- ・生徒にとっての情報源は教師
- ・生徒同士の相互作用はない



- ・情報の伝達者及びゲートキーパーとしての教師
- ・教師と生徒には相互作用がある
- ・生徒間の相互作用は二次的なもの



- ・知識データベース等に、生徒も教師も等しくアクセスできる
- ・生徒間、生徒対教師の相互作用がある
- ・情報コントローラーとしての教師は姿を消し、生徒と教師が知識データベース等を取り囲む

**学習者中心
with ICT**



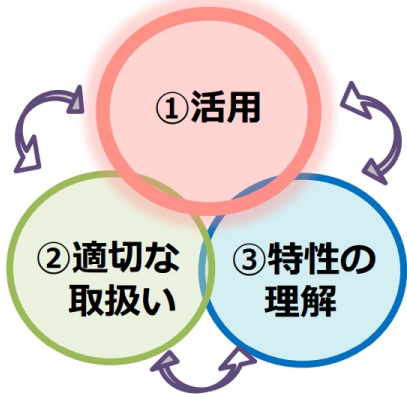
令和6年12月20日 デジタル教科書推進ワーキンググループ(第4回)資料4, 奈須正裕先生の資料より一部加筆

https://www.mext.go.jp/content/20241220-mxt_kyokasyo01-000039303_4.pdf

探究的な学びの基盤となる情報活用能力の整理

論点整理抜粋

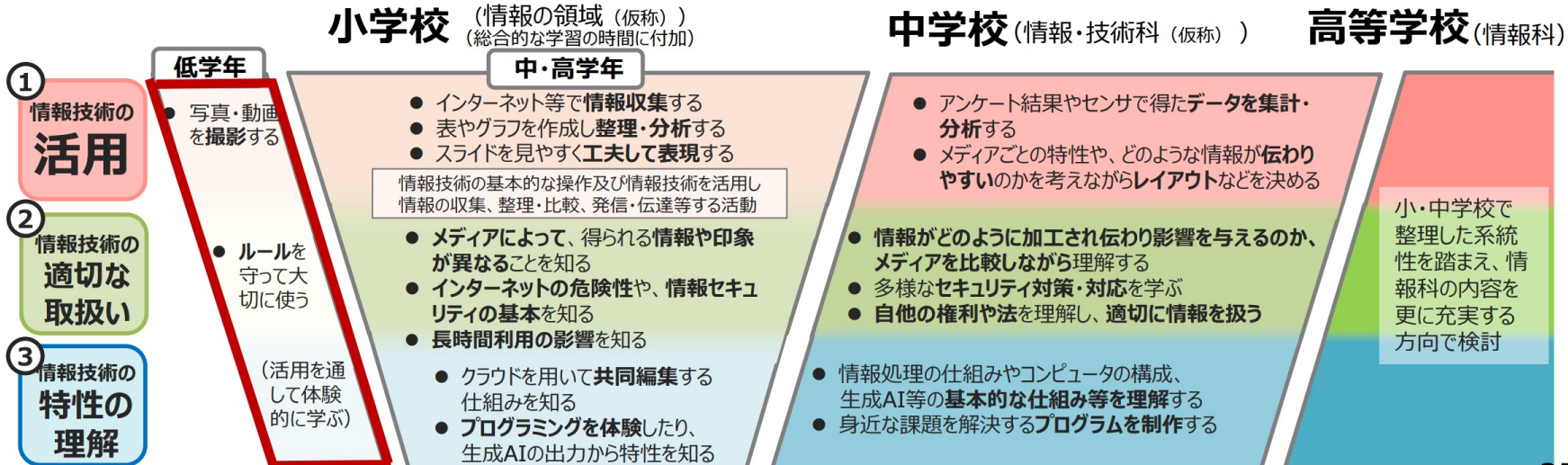
1. 情報活用能力を構成する各要素の関係を以下のとおり整理すべき



- 情報技術を自由自在に活用し、自らの人生や社会のために課題解決や探究ができる力がこれからの時代を生きる上で不可欠であることから、「**①活用**」を情報活用能力の中核的な構成要素と整理
- 「**①活用**」する力を発揮するためには、併せて認知や行動に与えるリスクに対応する「②適切な取扱い」が必要となること、仕組みや背景を含めた情報技術の「**③特性の理解**」によって、より効果的な活用や適切な取扱いが可能になることを踏まえ、②③を①を発揮するための構成要素と整理
- 高校段階では、高等教育段階での数理・データサイエンス・AI教育の動向とも連動し、文理を問わず生成AI時代に不可欠な基礎的な素養である「特性の理解」を身に付けられるよう、内容を充実

2. 上記整理に基づき、おおむね以下のようなイメージで発達段階に即した学習活動を検討すべき

- ✓ 小学校段階………体験的な活動を重視し、「**①活用**」を中核としながら、「**②適切な取扱い**」、「**③特性の理解**」と相まって培う
- ✓ 中学校段階以降…各要素の内容を深めつつ、より抽象的・科学的な理解を必要とする「**③特性の理解**」を一層重視



※上記の学習活動の例は網羅的に示したのではなく、今後更に専門的な整理・検討が必要。特にタイピングは国語科との役割分担を検討する必要

25

教育課程部会
生活、総合的な
学習・探究の時
間ワーキンググ
ループ (第2回)
配付資料
2025/11/10

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/115/siryo/mext_0002.html



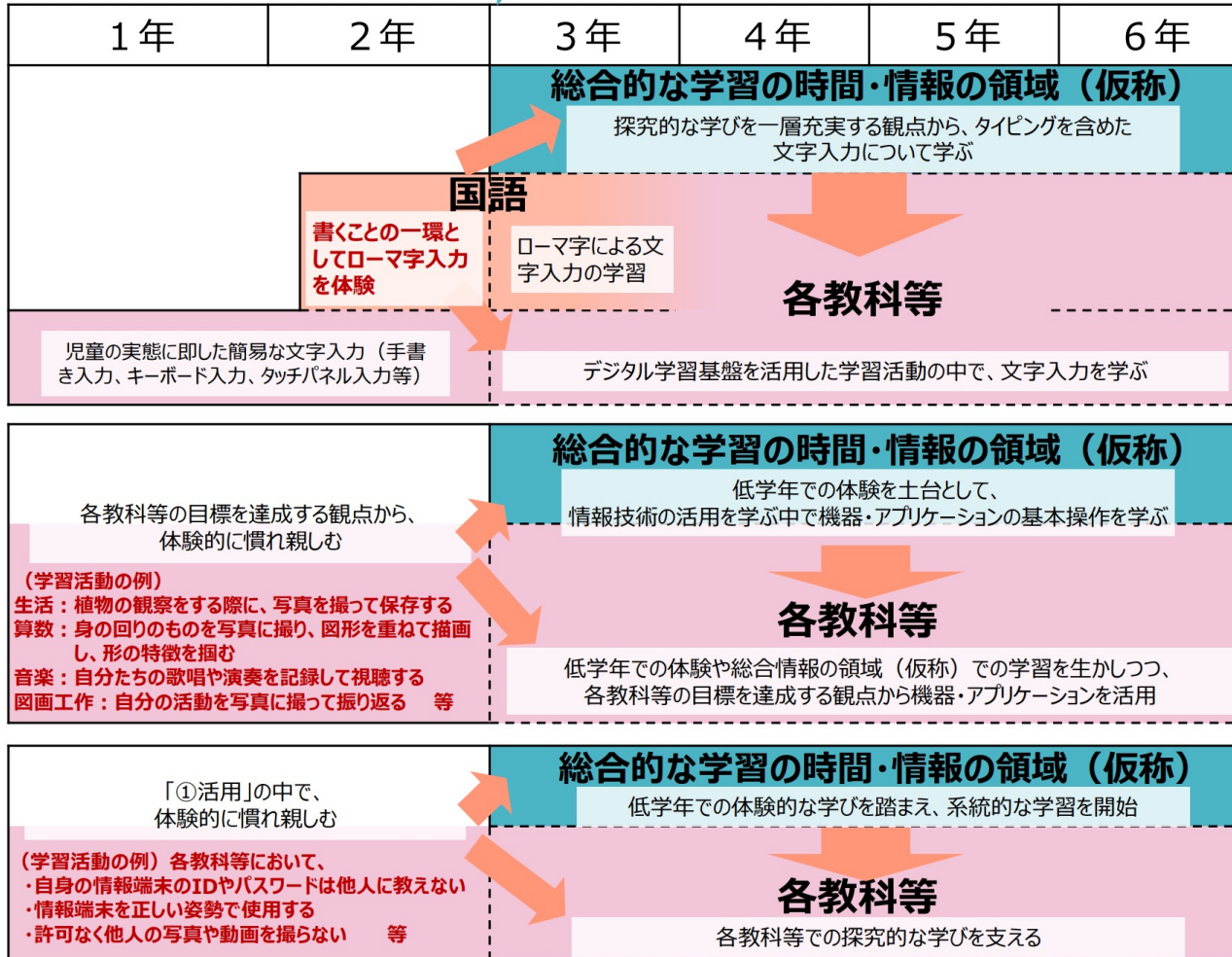
小学校低学年における情報活用能力の育成イメージ

補足イメージ

- 「基本的な操作」について、「コンピュータで文字を書くこと」と、「機器・アプリケーションの基本操作」の2つに整理し、各学年における学習活動と中学年以降への展開は以下のような流れとしてはどうか
- 「②適切な取扱い」と「③特性の理解」は、「基本的な操作」の中で体験的に学ぶこととしてはどうか

デジタルに体験的に慣れ親しむ → デジタル学習基盤を効果的に活用する

① 情報技術の活用
 基本的な操作
 A コンピュータで文字を書くこと
 B 機器・アプリケーションの基本操作



②適切な取扱い
 ③特性の理解

教育課程部会
 生活、総合的な
 学習・探究の時
 間ワーキンググ
 ループ（第2回）
 配付資料
 2025/11/10

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/115/siryo/mext_0002.html



紙 vs 端末

・タブレットは紙に勝てるのか（赤堀 2014）



	章末 問題	多肢選択・ 記述		基礎的・応用的		知識・理解		総合
		総合 得点	多肢 選択	記述	基礎的	応用的	知識	
iPad	○	◎	△	◎	△	◎	△	◎
PC	△	△	○	△	○	△	◎	△
紙	◎	◎	◎	○	◎	○	◎	○

[表 1] テスト結果のまとめ（赤堀侃司、2012年）

- ・ **紙メディア**は、章末問題、多肢選択問題、基礎的問題、知識・理解の問題に優れていることから、**教材内容を忠実に記憶したり理解したりすることに有効なメディア**と考えられる。
- ・ **iPad (ICT)** は、総合得点、記述問題、応用的問題、理解・総合問題に優れていることから、**自分で考えたり判断したりすることに有効なメディア**と考えられる。

ブルームの 教育目標分類学

タキソノミー

田中康平（2019）創造的な学びに向かうための「発問」例
<https://www.nelmanage.com/2019032-taxonomyquestion/>
 （参照日 2026/02/01）

創造的な学びに向かう～形成的評価のための発問例～（田中, 2019）

学習目標	①記憶する	②理解する	③応用する	④分析する	⑤評価する	⑥創造する
学習活動 10の動詞 (例示)	記述する お気に入りの追加する インターネットで検索する ハイライトする（マーキング） リスト化する 名前や番号を付ける 脈略をつけて覚える 暗唱する 録音・録画・撮影する 視覚化する （画像などに書込む）	複数の語句で検索し、 絞り込む 集約する 分類・比較する 議論する 説明する 言葉や態度等で表す 例示する （言い換える） 通訳する 日誌にまとめる 要約する （ツイートする）	考えた方略を実行する 方法や道具を選択する 実験する デモンストレーション 遂行・完了する 図やグラフ化する 編集する 明確に述べる プレゼンテーション 共有する	測定・調査する 基準を見出す 分類・比較する 結論づける 相関を示す 推論する 識別する 例証する 構造化する マインドマッピング	試験・採点・審査する 批評する コメントする 結論づける 格付ける （ランキング） 文脈を整える （コンテキスト） 推敲する 省察する 取捨選択する （捨てるを含む） 再構成・改定する	コラボレーション （異なるものを組み合わせる） デザインする（設計） マネジメントする （管理） 考案する 開発する 策定する ブログを書く、執筆・ 論述する 動画で表現する （Youtube等） プログラミングする 問題や課題を解決する
形成的評価 の発問 (例示)	これは誰？ これは何？ 何を覚えた？ いくつ覚えた？ マークできた？ 書くことができた？ 記録できた？ 撮影できた？	いくつ集めた？ どうやって集めた？ 似ているものは？ どこが似ているの？ どこが違うの？ 〇〇を説明できる？ 短い文で書くことができる？	実行する順序を説明できる？ 何を使えばよい？ その道具を選んだ理由は？ 参考にしたものは何？ 実行するためには、何が重要？ 再現することができ	どういう特徴が考えられる？ 比較の基準は？ 分類した理由は？ 何を参考にした？ 違う部分、関連する部分を説明できる？ 構造や分類を図で表現できる？	良いと評価した理由/基準は？ 優先順位をつけて示すことができる？その理由/基準は？ 最も重要なことは？ 比較の結果、除外したことは？残したことは？ なぜ除外したの？なぜ残したの？	新たな視点は何？ 先行事例との違いは？ どんな問題を解決できる？ どのように問題を解決できる？ どういう価値を提供できる？

初学者

熟達者

イノベーター

ブルームの 教育目標分類学

タキソノミー

田中康平 (2019) 創造的な学びに向かうための「発問」例
<https://www.nelmanage.com/2019032-taxonomyquestion/>
 (参照日 2026/02/01)

創造的な学びに向かう～形成的評価のための発問例～ (田中, 2019)

学習目標	①記憶する	②理解する	③応用する	④分析する	⑤評価する	⑥創造する
学習活動 10の動詞 (例示)	記述する お気に入りの追加する インターネットで検索する ハイライトする (マーキング) リスト化する 名前や番号を付ける 脈略をつけて覚える 暗唱する 録音・録画・撮影する 視覚化する (画像などに書込む)	複数の語句で検索し、 絞り込む 集約する 分類・比較する 議論する 説明する 言葉や態度等で表す 例示する (言い換える) 通訳する 日誌にまとめる 要約する (ツイートする)	考えた方略を実行する 方法や道具を選択する 実験する デモンストレーション 遂行・完了する 図やグラフ化する 編集する 明確に述べる プレゼンテーション 共有する	測定・調査する 基準を見出す 分類・比較する 結論づける 関連を示す 推論する 識別する 例証する 構造化する マインドマッピング	試験・採点・審査する 批評する コメントする 結論づける 格付ける (ランキング) 文脈を整える (コンテキスト) 推敲する 省察する 取舍選択する (捨てるを含む) 再構成・改定する	コラボレーション (異なるものを組み合わせる) デザインする (設計) マネジメントする (管理) 考案する 開発する 策定する ブログを書く、執筆・ 論述する 動画で表現する (Youtube等) プログラミングする 問題や課題を解決する
形成的評価 の発問 (例示)	これは誰? これは何? 何を覚えた? いくつ覚えた? マークできた?	いくつ集めた? どうやって集めた? 似ているものは? どこが似ているの? どこが違うの?	実行する順序を説明 参考にしたものは何? 実行する何が重要? 再現することできる?	何を参考にした? 関連することできる? 図で表	最も重要なことは? 比較の結果、除外したこと、残したことは? なぜ除外し、なぜ残したの?	きる? どのように問題を解 を提供
		習得	活用	探究		
	初学者					熟達者 イノベーター

考える (Think)
学習目標

選択する
(Select)

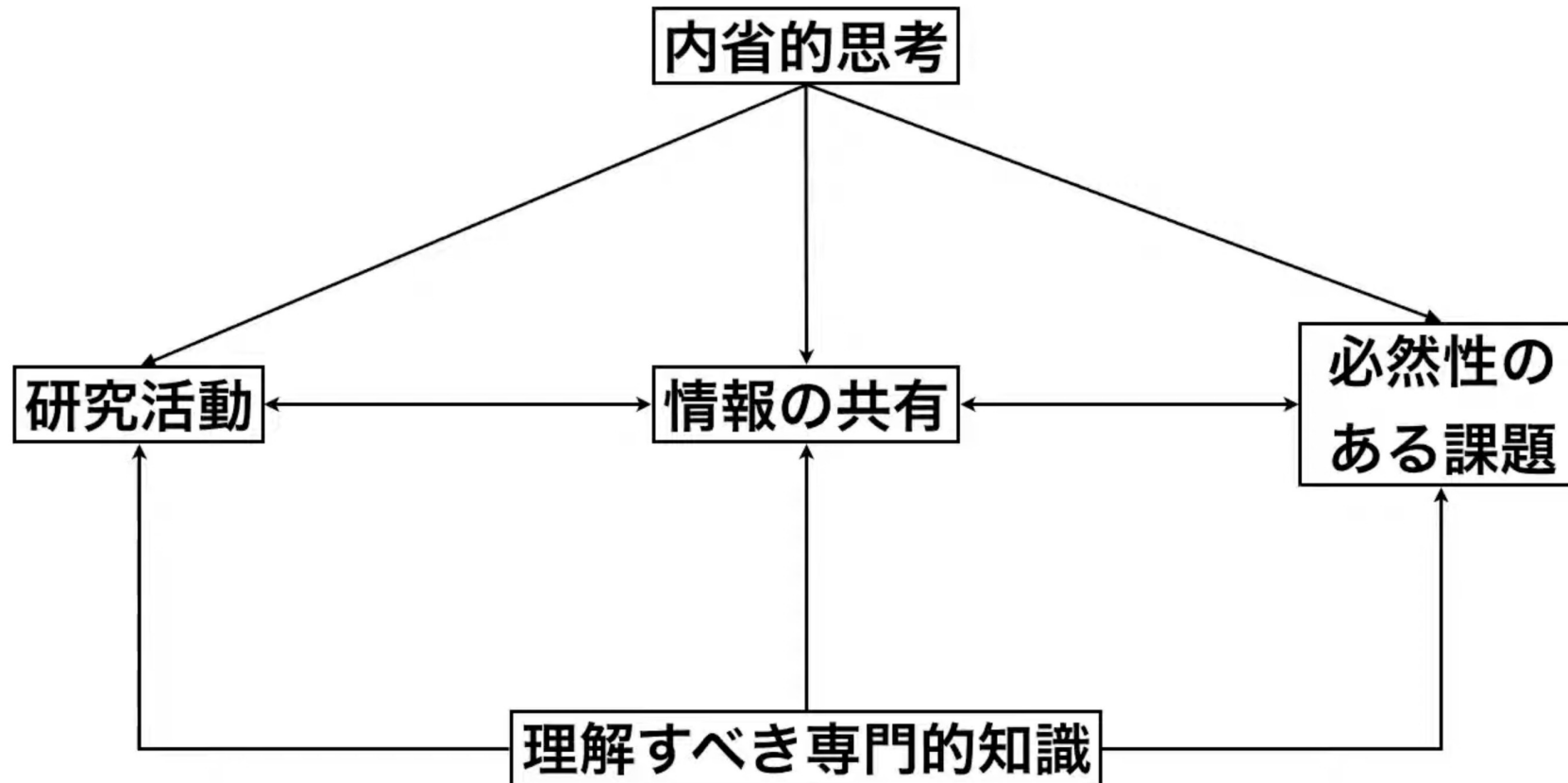
共有する
(Share)

「活用」を軸に「習得」と
「探究」を往還した学びの構造

初学者

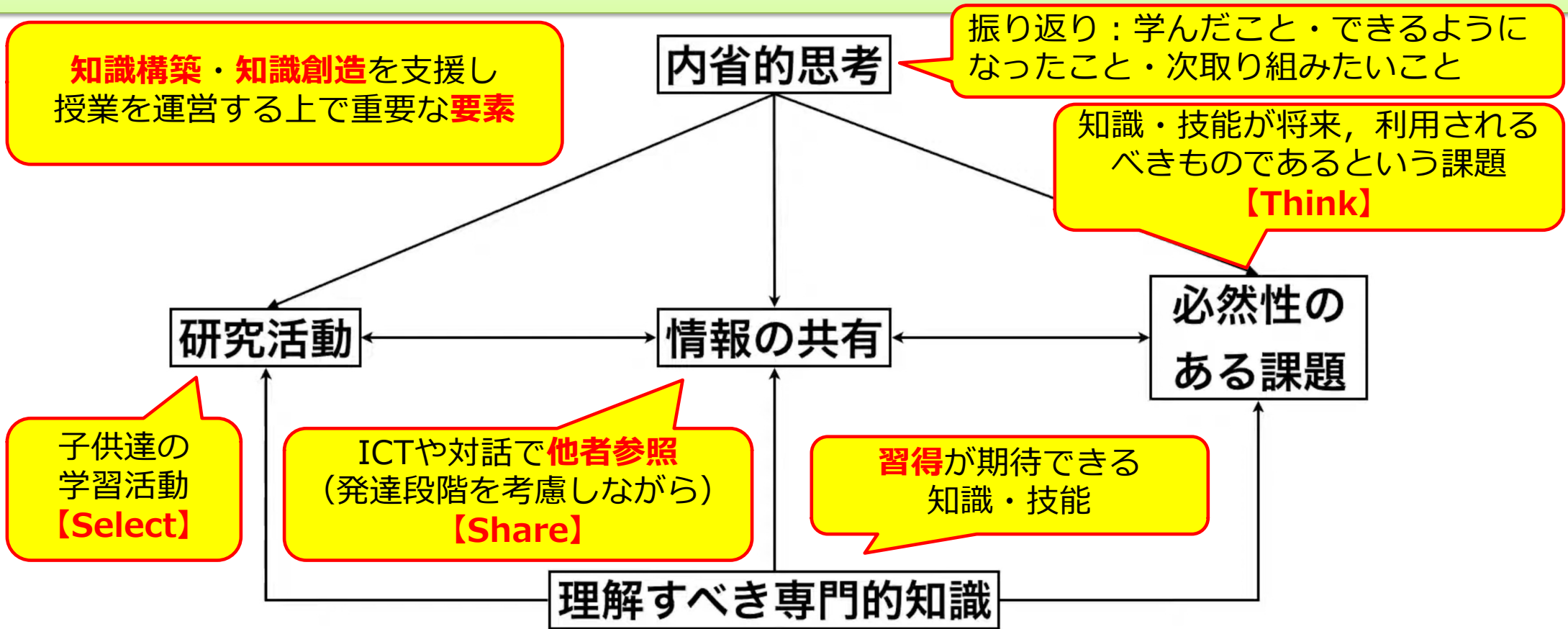
熟達者 イノベーター

学びの共同体の活動構造 (Brown & Campione, 1996)



Brown, A. L., & Campione, J. C. (1996). Psychological theory and design of innovative learning environments: On procedures, principles, and systems. In L. Schauble & R. Glaser (Eds.), *Innovations in learning: New environments for education* (pp. 289-325). Mahwah, NJ: Lawrence Erlbaum Associates

学びの共同体の活動構造 (Brown & Campione, 1996)



Brown, A. L., & Campione, J. C. (1996). Psychological theory and design of innovative learning environments: On procedures, principles, and systems. In L. Schauble & R. Glaser (Eds.), *Innovations in learning: New environments for education* (pp. 289-325). Mahwah, NJ: Lawrence Erlbaum Associates

ポイント資料：概要版

教育課程企画特別部会 論点整理

(令和7年9月25日)



教育課程企画特別部会 論点整理
2025/9/25

https://www.mext.go.jp/content/20260129-mxt_kyoiku01-000045057_5.pdf

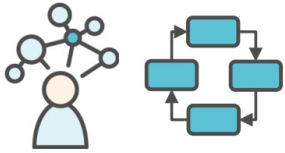
この
表紙の
意味は？

次期学習指導要領に向けた基本的な考え方

～あらゆる方策を活用し、三位一体で具現化～

1

「主体的・対話的で深い学び」の実装 (Excellence)



「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通じた資質・能力の育成について、一層の具現化・深化を図る

2

多様性の包摂 (Equity)



子供たちの多様性を包摂することで、一人一人の意欲が高まり、可能性が開花し、個性が輝く教育を実現する

3

実現可能性の確保 (Feasibility)



持続可能な在り方を追求し、教師と子供の双方に「余白」を創出することで豊かな学びに繋げる

学びをデザインする高度専門職としての教師

「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程による余白

デジタル学習基盤をはじめとする基盤整備

総合的な勤務環境整備

多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに



生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手をみんなで育む



文部科学省：教育課程企画特別部会における論点整理について（報告）
2025/09/25

ポイント資料：
概要版

https://www.mext.go.jp/content/20260129-mxt_kyoiku01-000045057_5.pdf



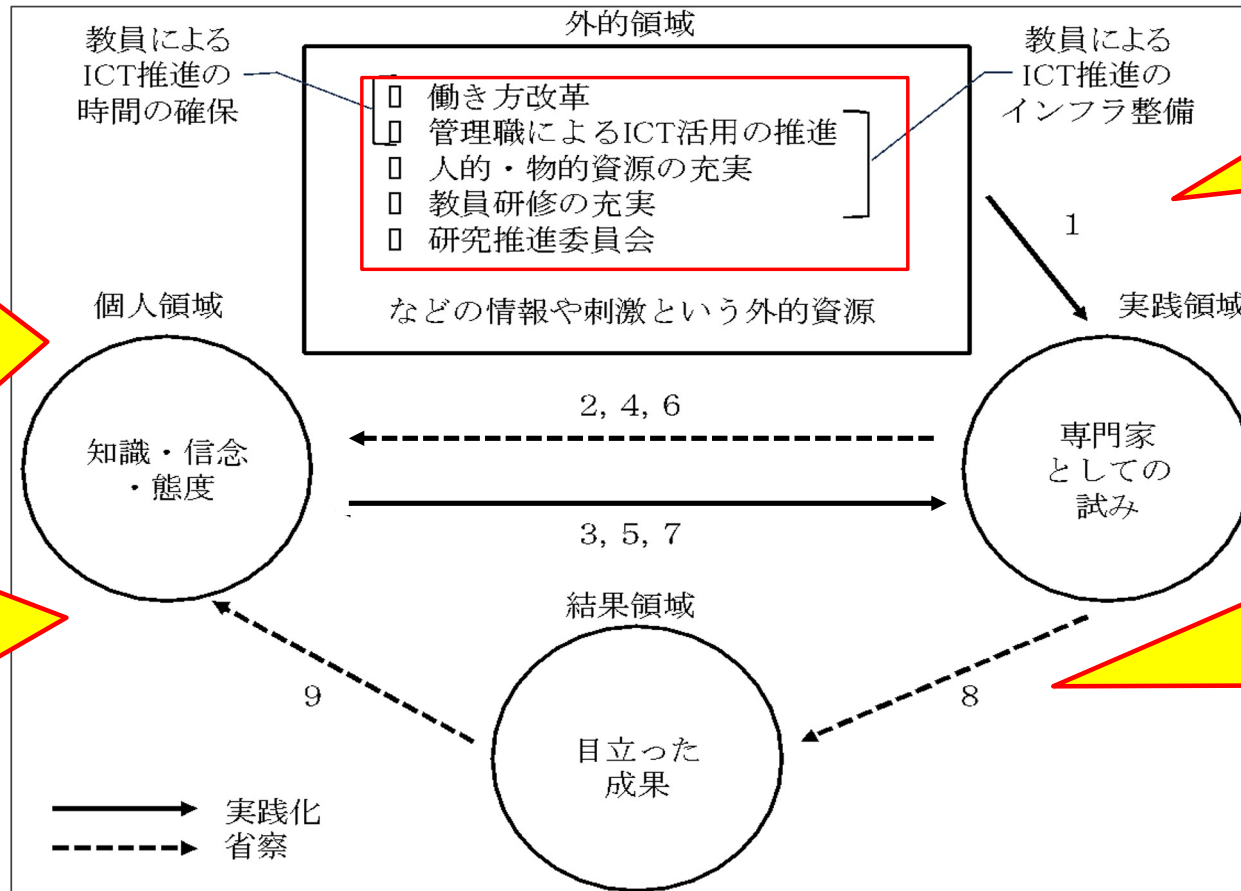
相互連関モデル：教員の信念等を変えるために

講師の語り

(外的領域)

から、教員の知識・信念・態度を変化させる矢印は存在しない

矢印1をどう引き起こすかが重要
例) 全員研究授業



実際に授業で試してみても...

子どもが変わったら、教員の知識・信念・態度が変わる

**ご清聴いただきまして誠にありがとうございました
大田区立羽田小学校の先生方，教育委員会の皆様，
関係する全ての皆様に感謝申し上げます！**



北澤 武

kitazawa@ephs.aoyama.ac.jp
青山学院大学教育人間科学部教育学科